



学校だより (1月号)

令和4年1月11日(火) 全校生徒672名 文責 教頭 川上 和幸

学校の教育目標

郷土を愛し、心豊かで心身共に逞しく、自ら学び、高めあうことができる生徒の育成

◇めざす学校像 〈通いたい・通わせたい・応援したい学校〉

◇めざす生徒像 〈輝く生徒〉

◇めざす教師像 〈本気・情熱・謙虚を持った教職員〉



HPQR コード

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします!!

冬休みに入り、寒さが一段と厳しくなりましたが、天気も回復し、穏やかなお正月をお過ごしになったことだと思います。(オミクロン株が心配ですが...) 昨年発表された今年の漢字は「金」でした。コロナ禍で開催された東京オリンピック・パラリンピックで日本人選手が多数の「金」メダルを獲得したほか、本校卒業生の林咲希選手の活躍や大谷翔平選手が大リーグ MVP を満票で受賞するなど、リアルニ刀流でシーズンを通して活躍。さらに松山英樹選手の日本人初のマスターズ制覇、藤井聡太棋士の最年少四冠達成など、国内外で今まで成し得なかった多くの「金」字塔が打ち立てられました。新型コロナウイルス感染拡大の暗いニュースを吹き飛ばすような、日本中が元気になる話題もたくさんありました。しかし、世界情勢を見れば、紛争や混乱は相変わらず多く、地球環境の悪化など、心配なニュースが多く伝えられました。自然災害も当たり前のようになり、災害の多い日本の歴史から見ても異常事態と思わざるを得ません。「予測不可能な時代」は、ますます進んでいるように感じます。1年生の総合的な学習の時間に取り組んだ「持続可能なよりよい世界を目指す」SDGsの学習は今まさに必要な学習で、世界中のみんなが考えなければならないことだと思います。今年一年が皆様にとって平穏で素晴らしい年となることを心よりお祈り申し上げます。

さて、本年度も残すところあと三ヶ月足らずです。3年生は進路決定に向けて最終コーナーに入ります。気持ちも新たに自己の目標に向かって突き進んでほしいと思います。1・2年生はそれぞれ進級を控え、最上級生、中堅学年への準備を行う時期です。新たな生徒会のリーダーも決まり、気持ちを新たにスタートして欲しいと思います。これからの三ヶ月間は、前期に比べると大きな行事もなくあっという間に過ぎていく印象があります。新年の新たな決意のもと、一日一日を大切に過ごして欲しいと思います。今までやれなかったこと、やらなかったことを反省し、自分の今年の目標をはっきりと立て、二学期制の後期後半をスタートさせましょう。

また、新型コロナウイルスの感染防止対策につきましては、学校でも気を引き締めて取り組んで参ります。引き続きご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

前中生徒の活躍

○創造アイデアロボットコンテスト九州大会(大分大会)

審査員特別賞「ひなたあず」(3年 古藤・三苫・生野・久保・笠・谷村)

○福岡県中学校英語スピーチコンテスト 優秀賞 3年 波佐間 由良

○糸島市中学校スケッチ大会

金賞 3年 藤田秀穂 銀賞 2年 古川彩心 岩村落 中山遥陽

銅賞 2年 細川夢彩音 岩田優凜子 山口裕生



